



明賀孝子 議員

質問①

共生型地域福祉拠点対策について

問

現在人口減少により、社会福祉施設、サービスを維持することが難しくなる中、北海道では「共生型地域福祉拠点」の名称で設置を推進しており、2023年度時点で道内には計417拠点あり、毎年増えつつあります。様似町においてこの取り組みに対する考えをお聞きます。

答

北海道では、共生型地域福祉拠点に厳密な指定条件はありません。地域で既に自然と取り組んでいる活動も含め、高齢者、障がいのある方、子供等を含む地域住民が自由に

問

認知症オレシカカフェについてはどうですか。

答

以前、保健福祉センター内で一時開催していましたが、コロナ予防のため途中3年程やめていました。再開を検討する中で、農作業の要望があり、現在ソビラ荘横の区画を使い農園活動をカフェ的なものとして展開しています。

問

町内障がい者福祉においては、給付金支援が主になっていますが、現状も含めて今後の取り組みをお聞きます。

答

国、北海道、様似町の負担割合が決められている中で法に基づいた給付を行っていると思います。町独自の制度として、子供補聴器の購入助成、交通費や入浴券としての様似シルバー券は、7歳以上の方に加えて障がい者の方にも交付しています。現状では、補助、給付的なものを中心となっていますが、保健福祉の分野全体としての地域づくりにつながる様な施策も推進していきたい。

問

現在ある福祉施設、公共施設の空きスペースを有効活用して、共生型地域福祉や権利擁護支援、孤独、孤立支援、ひきこもり支援等行っていく考えはありますか。

答

様似町内には、現在障がい者の福祉施設はなく、町外にある施設のサービスを利用しています。権利擁護支援、孤独、孤立支援、ひきこもりなどについては、認知症も含め

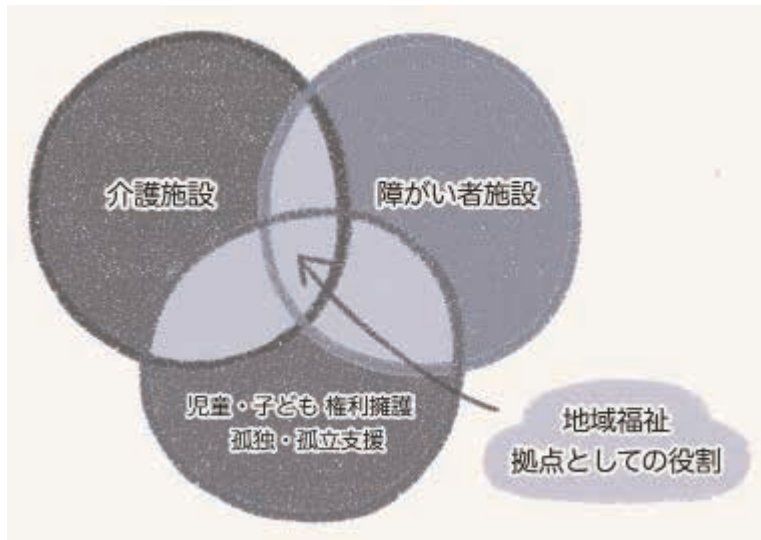
問

今後の福祉活動をしていく上で、様似町の目指す姿、指針で、荒木町長にお聞きます。

答

まちづくりの根幹は、地域での地域づくりがあつて、はじめてまちづくりだと言えます。地域との繋がりをいかに持つかという取り組みをやつていかなければならない。

昨年、高校生とのトークにおいても、高齢者の方々とふれあいを持ちたい、昔の話や様似町がどんな町だったのか知りたいとの要望もでした。高齢者の皆さんの生きがいづくりに繋がるといふような事を一緒にやって行きたい。



社会・文教常任委員会

10/7
12/4

◆様似町休日・夜間看護師勤務補助金の引き上げについて

医療機関に対し補助金を交付する本制度は、平成23年4月より施行されています。このたび、様似町の救急医療を担っている三和医院より、昨今の賃金、物価上昇を受け、令和6年9月13日付で町へ要望書が提出されました。

	現行	引き上げ後
平日	8,800円	10,100円
土曜日	12,300円	14,100円
日曜日	17,500円	20,100円
年末年始	3,500円	40,200円
年額	4,109,660円	4,717,700円

○補助引き上げ内容（日額）約14.8%の増

引き上げはやむを得ないとし、改正案が提示されました。改正年月日は令和7年4月1日、補助金の財源は過疎債を活用します。

◆がんリスク検査

（N—NOSE）について

N—NOSEは、15種類のがんのリスクを尿検査で調べる簡易で侵襲のない検査です。町民からの要望を踏まえ、がん検診受診率の向上による、がんの早期発見、早期治療を目的として、令和4年度より、町が検査費用を助成していますが、過去3年間のこの事業の総括として、本事業の問題点が提示されました。N—NOSEは国が定める標準的ながん検診には位置付けられていないため、自治体が行う住民検診として国のガイドラインでは推奨されていないこと、また、三和医院の葛原院長より、N—

N—NOSEの信頼性の低さと、むしろ、がん検診受診率の抑制につながったのではないかと、という指摘もあり、事業継続の必要性は低いとの見解も示され、この事業を取りやめたいとのことでした。取りやめるのは簡単だが、がん検診受診率向上のための施策があるのか、質問、意見等が取り交わされました。町は、健康づくりのための入り口であるということ踏まえ、N—NOSEのように手軽にできる検査が他にないかを検証し、取り組んでいきたいとの事でした。

◆スクールランチ事業の価格改定について

現在、材料費をはじめとして価格が上昇していることから、委託先のコープさっぽろより、単価引き上げの要請がありました。引き上げ額は、令和6年12月から、

令和7年3月までは9円増しその後、来年度の令和7年4月より、さらに70円増しとなり、年間合計額は令和7年度より、約350万円増しとなります。競争相手がいないことにより、価格交渉が不利であることの懸念、また、日高管内で他にスクールランチを考えている所があった場合の工場誘致の可能性などが話し合われました。

	児童生徒			教職員		
	単価	助成額	自己負担	単価	助成額	自己負担
R6年11月分まで	450円	450円	0円	450円	140円	310円
R6年12月～ R7年3月	459円	459円	0円	459円	140円	319円
R7年4月分から	529円	529円	0円	529円	160円	369円

その他審議した案件

10月7日

◇令和6年6月様似町議会定例会付託案件

「意見書案第2号」について
12月4日

◆日高管内地方税滞納整理機構規約の変更について

◆様似町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について

◆様似町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

◆様似町家庭的保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
◇令和6年度教育委員会点検・評価報告書について

※注

◆↓町側からの案件

◇↓委員会側からの案件